

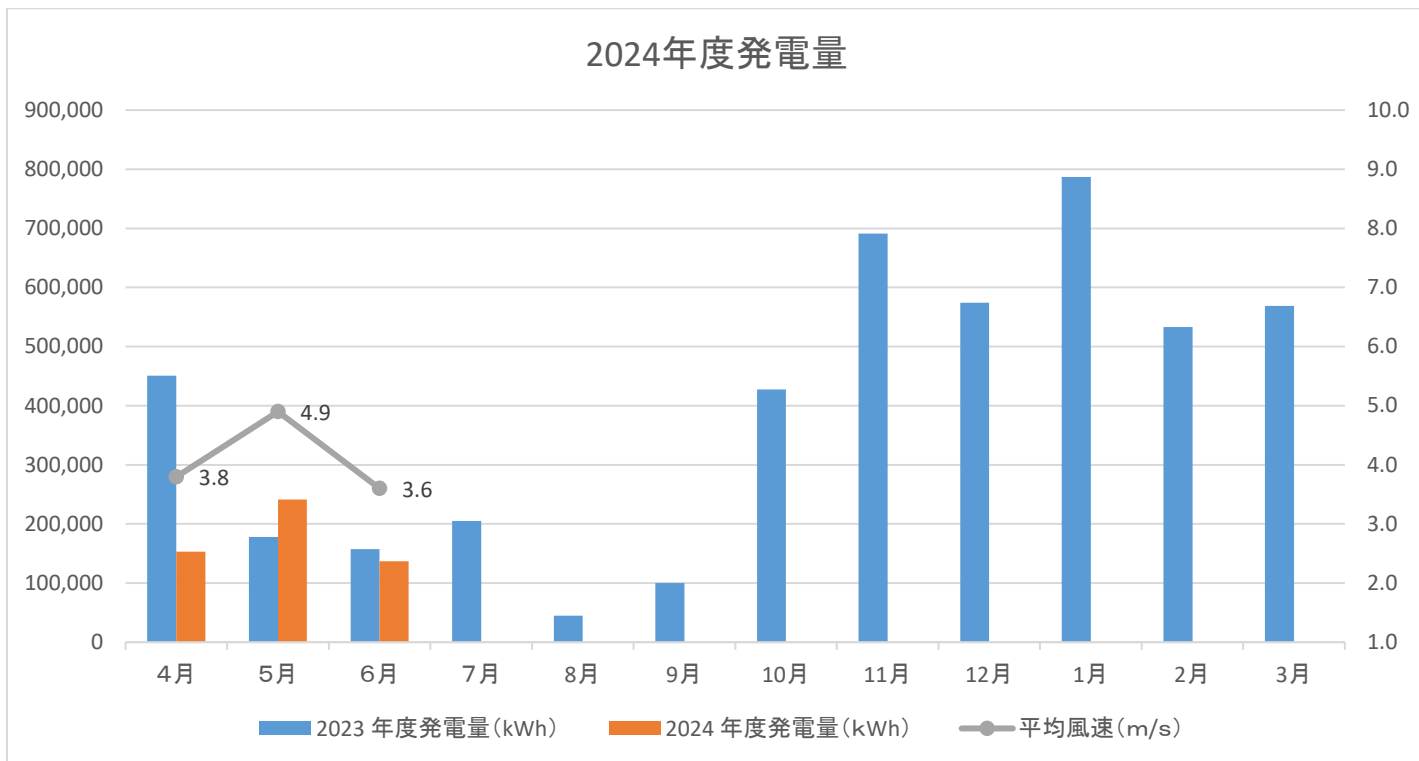
秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-4-14FORECAST 人形町 PLACE8 階

一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩（代表理事） 編集責任者 鈴木伸予

○ 2024 年度発電実績



2024年度4月5月6月運転状況

1) 4月

○風況は昨年同月と比較して2.7m/s低く想定売電量を下回る実績となりました。

○風車の12.0年次点検を実施しました。

○優先給電ルールに基づく出力抑制が5回ありました。

2) 5月

○風況は昨年同月と比較して0.8m/s 高いものの想定売電量を下回る実績となりました。出力制御指示が4回あり、約32時間停止したことが一つの要因として考えられます。

3) 6月

○風況は昨年同月と比較して1.4m/s 低く想定売電量を下回る実績となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	153,195	3.8	89.1
5月	241,574	4.9	94.2
6月	136,685	3.6	99.6
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会総会報告

2024年8月5日15時30分より、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会の2024年度(第12回)総会を開催しました。

冒頭、本田雅之副市長から「7/24からの大雨による被害がにかほ市でも発生しており、これまでにかほ市は災害の無い地域とってきたが、気候変動の影響は確かに感じる。生活クラブとの連携をすすめていきたい。」とのご挨拶を頂きました。

続いて、半澤彰浩共同代表を議長に議事審議を行い、第1号議案2023年度活動のまとめ、第2号議案2024年度方針案、第3号議案役員を選任の全ての議案は承認されました。特に2025年に実施する夢風10周年記念と院内風車竣工式の企画、夢風10周年記念誌の発行などの方針を決定しました。

夢風ブランド開発生産者連絡会総会報告

2024年8月5日17時より、夢風ブランド開発生産者連絡会の2024年度(第11回)総会を開催しました。

連携推進協議会の半澤彰浩共同代表を議長に、議事審議を行いました。第1号議案2023年度活動のまとめ、第2号議案2024年度活動方針案では、院内風車の市民ファンドの返礼品の決定を連絡会で行う事とし、品目について意見交換を行いました。第3号議案では、三浦悦朗さんのご逝去に伴い新たな会長として、伊藤製麺所の伊藤実代表が選出されました。

生活クラブ組合員リーダーツアー開催報告

2024年7/13(土)14(日)、首都圏4単協主催の組合員リーダーツアーを31名の参加で実施しました。

1日目、生活クラブ風車「夢風」の見学を行いました。風車の保守管理を委託している市民風力発電より風車の仕組みや変電所の説明を頂きました。そして、参加者の中からジャンケンで勝ち抜いた横浜みなみの齋藤邦子さんが80m上空のナセルに昇りました。参加者からは「夢風の実物を見て、その大きさを実感できた。タワーの中に入って技術面の話を聞けて良かった。変電所の方のお話が興味深かった。」などの感想がありました。



参加した生活クラブの組合員

つづいて、風車の土地をお借りしている芹田自治会とのBBQ交流会を行いました。

芹田自治会では、BBQ交流会の前に半澤彰浩代表を講師に生活クラブの取り組みについての学習会を行い、とても良かったとの声がありました。

BBQ交流会は、芹田自治会の皆さん、夢風ブランド生産者、にかほ市の市川雄次市長、本田雅之副市長が参加し、岩ガキと由利牛などを頂きながら組合員と楽しくお話をして交流しました。生活クラブの参加者による替え歌も大変盛り上がりました。芹田自治会の方も生活クラブとの交流会を楽しみにして下さっているとのこと。組合員からは、「芹田の皆さんが本当にあたたかく迎えて下さって、日々の暮らしの事や生活クラブとのつながりのお話を聞かせて下さってとても嬉しかったです。お金ではない信頼関係を実感できた。市役所の職員の方が岩牡蠣やお肉を焼いてくれていて感動しました。」など感想を頂きました。



交流する組合員と芹田の方々



生活クラブ風車・夢風の替え歌をうたう組合員

2日目は、まず、工事中の院内風力発電の建設地を見学しました。現在は基礎工事中で2025年1月に運転稼働する予定です。組合員からは「芹田は海側だったけれど、山の中で驚きました。きちんと事前調査もしている事も良くわかりました。今後の院内自治会との交流も楽しみです。」などの感想を頂きました。

つづいて、伊藤製麺所の工場見学を行いました。伊藤実代表に、タラーメンの製造工程を資料をもとに丁寧に説明頂きました。三代目伊藤さんの説明は大変わかりやすく家族で頑張っている様子が良くわかりました。

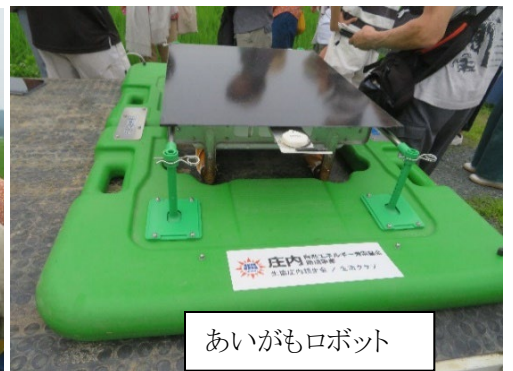


建設中の院内風力発電予定地を見学する組合員

午後から、山形県遊佐町の共同開発米部会の今野修会長の圃場を見学しました。無農薬栽培米の圃場で、庄内・遊佐太陽光発電の基金を活用した除草機「あいがもロボット」を使った実験2年目のお話を伺いました。



左から2人目:今野会長



あいがもロボット

つづいて、庄内・遊佐太陽光発電所の見学を行いました。株式会社 CSS の金子敏さん、菅原善悦さんに発電所の設備や建設の経緯、基金についてご説明を頂きました。組合員からは「ただ、その広さに圧倒されました。きれいに除草されていて管理がゆきとどいてありがたいです。銅線どろぼうの話は気になりますが、何もないことを願っています。」などの感想がありました。



前列左から4人目:金子さん、前列右端:菅原さん

にかほ市の小学生親子風車見学会を開催しました

8月6日にかほ市の小学1～4年生の親子を対象とした風車見学会企画を開催し、当日は2年～4年生の親子3組の参加がありました。

にかほ市総合政策課の齋藤剛志さん、佐藤周平さんとグリーンファンド秋田の半澤彰浩代表、鈴木が対応しました。

にかほ市の室内型スポーツ施設「エスパーク★にかほ」に集合し、生活クラブ風車「夢風」に向かいました。

市民風力発電の福山純平さんに、タワー内に入って風車が発電する仕組みについてや、メンテナンスのお話を伺い、高橋さんに、電気を運ぶ仕組みについてお話を伺いました。

つづいて、「エスパーク★にかほ」の研修室で、にかほ市の佐藤周平さんから、にかほ市の風車についてのお話がありました。お話のなかで、風車の大きさ(羽の頂点まで 120m)を、ネイガーやウルトラマン、ゴジラにたとえたり、子供たちに大変わかりやすく工夫されていました。

つづいて、生活クラブから子供たちに、省エネと温暖化の紙芝居を行いました。そして、お楽しみのミニ風車づくり工作です。ペットボトルで羽をつくり、モーターを回して、LEDをつけます。子供たちは、うちわであおいで必死に羽を回さないとLEDが光らないので、でんきをつくることを実感していました。どの子も、満足気で、うちに帰っても羽根の角度など実験を重ねるそうです。良い夏休みの自由研究になりました。



風車・夢風の中を見学するにかほの子供たち



後列左から、渡邊芹田自治会長、半澤代表、佐藤さん。前列左、齋藤さん。後列右から、市民風力発電の福山さん、高橋さん